

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成25年6月13日 (2013.6.13)

【公表番号】特表2012-524621(P2012-524621A)
 【公表日】平成24年10月18日 (2012.10.18)
 【年通号数】公開・登録公報2012-042
 【出願番号】特願2012-507344(P2012-507344)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 17/28 (2006.01)

A 6 1 B 17/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/28

A 6 1 B 17/06

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月19日 (2013.4.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

交差部材を互いに回動するよう固定する固定手段を有し、第 1 の端部および第 2 の端部を作る一組の交差部材を具えている手術用クランプ器具であって、

前記交差部材の第 2 の端部は、前記一組の交差部材を定位置に固定するロック装置と指受リングとを具えており、

前記交差部材の第 1 の端部は遠位端にクランプ面を具え、少なくとも第 1 の湾曲部と第 2 の湾曲部と傾斜面とを有しており、

前記第 1 の湾曲部および第 2 の湾曲部は互いに対向しており、前記第 1 の湾曲部の寸法は前記第 2 の湾曲部の寸法よりも大きく、前記第 2 の湾曲部は前記第 1 の湾曲部の上部に配置されて凹部を具えていることを特徴とする手術用クランプ器具。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の手術用クランプ器具において、前記第 1 の湾曲部および第 2 の湾曲部が前記遠位端に S 字型部分を形成することを特徴とする手術用クランプ器具。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の手術用クランプ器具において、前記第 1 の湾曲部および第 2 の湾曲部が、鋸歯状の内面と、縫合材の滑りを補助する平滑な外面とを具えることを特徴とする手術用クランプ器具。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の手術用クランプ器具において、前記傾斜面および前記第 1 の湾曲部の外面が、前記縫合材の滑りを補助するよう傾いていることを特徴とする手術用クランプ器具。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の手術用クランプ器具において、前記第 1 の湾曲部が、当該第 1 の湾曲部の表面から延在する歯を具えることを特徴とする手術用クランプ器具。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の手術用クランプ器具において、前記第 1 の湾曲部が、60 度以上の角度をなすことを特徴とする手術用クランプ器具。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の手術用クランプ器具において、前記第 1 の湾曲部および第 2 の湾曲部が角度をなしており、前記第 2 の湾曲部の角度は前記第 1 の湾曲部の角度よりも小さいことを特徴とする手術用クランプ器具。